

2025 年度ゼミ（演習 3A／演習 3B）要覧

担当者名	助川哲也
演習テーマ	希望学の理論と実践（2）
内容と 卒業論文の 指導方針	「演習 3A」では、東洋思想について理解を深める。 また、ソシュールの言語学を利用した「言葉の構築による希望の実践」を「3A」「3B」の共通課題とし、卒業論文の構成には「希望のひとさじ」を盛り込むことを必須とする。卒業論文のテーマ、ジャンルは自由であるが、その問題における「希望的解法」が求められる。
メール・アドレス	sukegawa@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	オンラインにていつでも歓迎。要予約。
授業概要	「演習 3A」では、「仏教」「老子」「サティシュ・クマール」について学ぶ。宗教以前の哲学としての原始仏教、また普及した大乘仏教における「般若心経」の意味を問う。また「老子」の解説本を頼りに、「道（tao）」について理解を深める。東洋思想の実践編としてサティシュ・クマールの思想も学ぶ。卒業論文の用意は「演習 3A」から始まる。テーマの決定、ジャンルの知識を増やしていくための「マイ・ディクショナリー」作成は夏季休暇中の課題である。「演習 3B」では、卒論の構成、原稿の内容など、中間発表を各自最低 2 回は行い、他のゼミ生からの批評を受ける。
学習目標	国際学部の学生として、欧米の思想だけではなく、私たちの生活に根付いている東洋の思想を学ぶことも必要である。仏教の根本にあるものと、世界的に「ZEN」として言葉だけが知られている実践思想、その始まりにある「老子」の世界観を会得する。また、3 年次の学習内容も含め、「希望学の理論と実践」から学んだ「問題への具体的解法」を卒業論文の一つの柱とすることにより、今後の人生を支える礎としてもらいたい。
授業計画	「演習 3A」では、教員作成の資料により「原始仏教」と「老子」を学び、現代社会と個の問題をめぐるグループ発表をする。また、卒業論文のテーマ発表後は、「言葉の構築による希望の実践」方法を学び、論文執筆のための「マイ・ディクショナリー」作成を開始する。 「演習 3B」では、卒業論文に関する発表を各自行うとともに、「言葉の構築」から目標に到達した人々のインタビュー文を読み、今後の実践のヒントとしていく。
予習	「仏教」「老子」「サティシュ・クマール」それぞれ課題がある。思想を学び、実践するとはどういうことかについて理解していく。
復習	各自の卒論執筆テーマに「希望学の理論と実践」をどう利用できるのか。3 年次に学んだことも含め、総復習する姿勢でいてもらいたい。
授業に関する 注意事項	卒論執筆は早めの準備で取り掛かり、余裕をもった日程のなかで研究と学びを深めていってもらいたい。
教科書	「原始仏教」「般若心経」については教員が資料を作成する。「老子」は『バカボンのパパと読む「老子」実践編』（角川文庫）、加えてサティシュ・クマールの『エレガント・シンプリシティ』（NHK 出版）をご

	購入願いたい。
参考書	『バカボンのパパと読む「老子」』（角川文庫）『プチ革命 言葉の森を育てよう』（岩波ジュニア新書）
成績評価の基準	授業参加度、グループ発表、マイ・ディクショナリーの作成、ミニレポートなどから総合的に評価する。
関連 URL	
認定留学期間中の 遠隔指導	否 / その他（帰国後の並行履修は認める）
備考	